

事務事業評価表(既存事業)

コード 7-2-6	事務事業名 保育園施設の大規模改修事業(芝久保保育園)	所管部課 児童青少年部保育課
--------------	--------------------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 老朽化による破損や不具合の著しい、内部仕上げ及び電気・給排水衛生設備などを改善するため、また、様々な障害をもった乳幼児の入所に対応するための施設整備。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子育て支援の促進(創2-2) (主要施策)保育園施設の計画的な整備
	実施内容、実施方法 芝久保町一丁目都営アパートの1階に所在する市立芝久保保育園の床、建具、空調及び設備機器等の改修を平成17年3月までに完了する。なお、改修中の当該園の保育については園庭に仮園舎を建設し実施する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成15年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 事業費	活動指標の考え方(定義) 事業費の予算額及び執行額
	成果指標名 打ち合わせ回数	成果指標の考え方(定義) 業者との打ち合わせ回数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	1,890	106,588	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金				70,000		
	地方債						
	その他				1,000		
	一般財源				1,890	35,588	
	所要人員(B)	人		0.10	0.40		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	827	3,331	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	2,717	109,919	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(進捗率)	千円	0	1.44	1.03	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	千円			114,935	
		実績値	千円		1,890	106,588	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	回数				35	
	実績値	回数		10		35	
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	保育環境向上のための設備改善が期待された。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	都営アパート1階であるため工事について階上住民等の理解と協力が必要であった。

コード 7-2-6	事務事業名 保育園施設の大規模改修事業(芝久保保育園)	所管部課 児童青少年部保育課
--------------	--------------------------------	-------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	より良い施設の完成に向け、施工業者との打ち合わせ会議を密に行い、順調に工事が完了した。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	保育園については、建築から相当年経過した施設が多く、老朽化による不具合等も生じている。また、障害児に対応するためのバリアフリー化など、今後も計画的な施設整備が必要である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	改修工事に伴い不用となった備品等は他の保育園で使用するなど、極力無駄が生じないように実施できた。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	不具合箇所の改善により保育環境の向上が図られた。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	保育環境の向上のための要望は強く、今後も老朽化した施設については計画的な整備が必要である。

17年度における改善点	遊戯室床面の不良が生じたため、施工業者の責任において改善した。
-------------	---------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。